

事業番号2：風力発電等に係る環境アセスメント基礎情報整備モデル事業

評価者のコメント（コメントシートに記載されたコメント）

【事業の課題・問題点等】

- 前回の公開プロセスの指摘について、納得できる説明とはいえない。
- 事前に広範囲に環境情報を集めることは結果的に風力発電事業の立地に結びつかないエリアが生じる。
- 経済産業省のエネルギー対策特別会計を財源とする「環境アセスメント調査早期実施実証事業」がある。本事業の陸上調査については、調査範囲に対して事業化検討中の安易が1/10にとどまっており、利用率が相当低い。
- データベースを常に最新のものに維持するためには更にコストがかかるだろう。気候変動が激しいなかで、使われないかもしれないエリアの情報更新に費用をかけることが適切か否かについては疑問が残る。今後の情報更新には必要最低限の経費に留めるべき。
- 経済産業省との役割分担のもとで実施されてきたことによる本事業の位置づけや意義の分かりにくさがある。
- アセス法令の手続きに乗せたうえでの期間の短縮や手続きの迅速化に資することを本来は目指すべきであって、手続きの外での調査が前倒しでなされることを是認すべきではない。
- 事前に幅広くアセスメントをしておくことのメリット、そのコスト効果について、以前の公開プロセスでの指摘には十分答えきれていない。
- 事業の最終年度であり、今年度だけでなく次年度以降のメンテナンス、活用推進を含めて整備し、当事業を予定通り完結させること。
- 他省庁の調査との棲み分けを明確にすべきである。
- 経済産業省の事業との費用対効果の比較も精密になされないまま、事業が継続完了となっており、H26 公開プロセスの評価を実質的に無視していると思われる。
- 入札における落札率が高い。

【改善の手法や事業見直しの方向性】

- 経済産業省の事業との関係性を見直したうえで、環境省の事業に一本化すべき。
- 経済産業省の事業とのコスト効果の比較について、今一度具体的に明らかにすること。
- 当該事業で整備されたデータを今後アップデートしていく必要があるため、今後の

方針を明確にすべき。

- そもそも事業が完了したところでのレビューは意味をなさない。
- 今後、別の事業で他省と同様の事業がある場合には、他省と貴省の事業の棲み分けについて、徹底した分析・検討をお願いしたい。
- 複数省庁にまたがる行政事業レビューについて、別の仕組みを考える必要があるのではないか。

評価結果

事業内容の一部改善

(廃止：1人、事業内容の一部改善：4人、評価不能：1人)

とりまとめコメント

当該事業で整備されたデータを今後アップデートしていく際に、方針を明確にすべき。経産省をはじめとした他省庁の事業との調整をもっと大きい場でやるべき。また、28年度に終了時期を迎える事業について、レビューを行う時期が問題である。さらに、一者応札についての改善も検討すること。